



水稻のカメムシ対策

カメムシ被害とは？

カメムシが米を吸汁すると・・・



**米に黒い斑点ができる
(斑点米)**

等級低下・品質低下の原因に！

よく見られるカメムシ

※地域や年次により発生状況は異なります。

アカスジカスミカメ



出穂期～登熟期に穂を加害し、斑点米の原因になります。

ホソハリカメムシ



イネ科雑草に多く生息。出穂期以降に穂を加害します。

クモヘリカメムシ



水田周辺の雑草から圃場に侵入し、穂を加害します。

イネカメムシ



水稻の穂を吸汁して、不稔や斑点米の原因になります。

1

草刈りが最重要！

カメムシを増やさないために
出穂の2週間前までに
畦畔・農道・休耕田の
雑草を除草！

イネ科雑草を
重点的に管理

雑草はカメムシの
住みかになります



2

薬剤散布は適期に！

基本防除時期

出穂後5～7日後に散布

穂が少し傾いた頃が目安です

その後

10～14日後に追加散布



穂が少し傾いた頃

3

イネカメムシの防除

- ・イネカメムシは、他の主要な斑点米カメムシ類と異なり、穂揃い期(出穂5～7日後)以降ではなく**出穂期に(穂が圃場の約半分出た頃)防除することが重要です。**
- ・イネカメムシは、**他の斑点米カメムシ類と異なり、出穂前に水田周辺の草を刈る対策で被害を防ぐのは難しい。**また、水稻以外のイネ科雑草には寄生しづらい。
- ・イネカメムシは、**幼虫の加害能力も高い**ため、**見逃さず確実に防除することが重要です。**



防除のポイント

出穂前 畦畔の草刈り

カメムシの発生源を無くしましょう

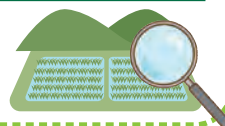
出穂後 適期に薬剤散布

効果的な時期に
かならず散布し
ましょう



登熟期 圃場の発生状況を確認

発生が多い場合
は追加防除を
しましょう



**「草刈り+適期防除」が
斑点米対策の基本です！**

- ☐ 出穂2週間前の草刈りは予定していますか？
- ☐ 出穂後5～7日頃に防除しますか？
- ☐ 発生が多ければ追加防除しますか？
- ☐ イネカメムシの防除時期を逃していませんか？